

令和3年度
自治会向け講演会
開催結果報告

令和4年1月16日（日）
稲毛区地域振興課
地域づくり支援室

1. 行事概要

1 開催概要

1 行事名	令和3年度自治会向け講演会
2 開催趣旨	地域の担い手不足、地域住民の関係希薄化が進む中で必要なことなどについて専門家の講義を通じて学ぶ。
3 日時	令和4年1月16日（日） 13:30～15:30
4 会場	稲毛区役所 3階 講堂
5 参加者数	町内自治会関係者として、 対面参加 31人 Web (Zoom) 参加 11人 その他関係者として、2人 計 44人
6 対象	稲毛区内の町内自治会の会長・役員等
7 参加費	無料

2 プログラム

開 会 13:30～ 13:33	参加者の皆様へ注意事項 (配布資料確認や、Zoom参加の方への注意など)
講 演 13:33～ 15:30	【講演】 講 師：長谷川 幸介 氏 講演テーマ：現代日本社会の状況と自治会の課題 講演後、質疑応答
備 考	事前申込制とし、区内の全町内自治会長あてに案内を送付及び市ホームページで参加者募集した。 対面参加に限らず、会場に来られない方向けに、Web (Zoom) による参加も可能とした。 また、対面参加の方には各自マスクの着用・手指の消毒、健康チェック票の提出などの協力をいただくとともに、各回の合間に会場内の消毒作業を行うなど、感染症対策に配慮し実施した。

2. 講師プロフィール及び講義の内容



長谷川 幸介（はせがわ こうすけ）氏

【プロフィール】

茨城県生涯学習・社会教育研究会会長

1950年北海道函館市生まれ（71歳）

1980年茨城大学人文学部助手

2016年茨城大学社会連携センター准教授（定年退職）

現在、茨城キリスト教大学兼務教員

【当日の講義内容】

「現代日本社会の状況と自治会の課題」と題し、講演を行った。

まず始めに、人類の進化の中で、自治会がどのように誕生したのか、自治会はどのように運営されているのか説明した。

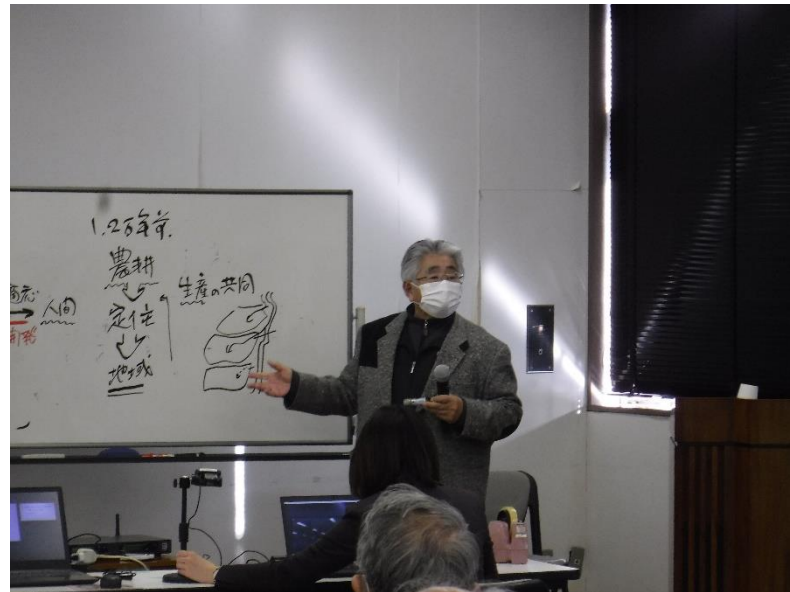
次に、人類を繋いできたものとして4つの縁「血縁、地縁、友縁、職縁」についてそれぞれ紹介し、それらが市民の幸せを作っているものであると説明した。

次に、「3つのシフト」を掲げ、それぞれ説明した。1つ目の「パラダイムシフト」（産業変換による社会転換）では、自治会でもAI化を進める必要性について説明し、2つ目の「ライフシフト」（くらしの変化による社会転換）では、定年退職後、自治会に入っていく際には、会社時代と異なる新しい役割（関わり方）が大切になると説明した。また、最近ではNPO法人を自治会運営に関わらせる会が増えていることも紹介した。3つ目のシフトとして、「コロナシフト」（コロナパンデミックによる社会転換）を掲げ、人類はコロナと共進化してきており、コロナ後の社会ではウィズコロナ時代として、コロナとともに考えていく必要があると説明した。

まとめとして、個人の自己免疫力を創るためには、社会活動を行うことが大きな役割を果たしており、定年退職後の第2の人生が始まったとき、どのように過ごすかが長生きするカギである。ここで、自治会がどのような役割を果たすのかが重要であるとした。

最後に、人間は終わりがあることが分かっているが、明日をどうするかを考えられる生き物であるので、家族の単位だけでなく、自治会の単位でも考えてほしいと述べ、講演を締めくくった。

3.当日の様子



4. 質疑応答について

講演後、参加者からの質疑応答の時間を設けた。主な質問と講師からの回答の要旨は以下のとおり。

Q1. 講演の中で出てきた「定年退職後の7つの別れ」をもう一度教えてほしい。

A1. 「会社、役職、給料、家族、健康、情報、仲間」です。自治会において、自分をアピールし、自分の人生を作っていくために自治会用の名刺を作ってみてはどうでしょうか。

Q2. 自治会サポートのブレーン団体をNPO団体ではなく、市役所が率先して行うことは可能か。

A2. 可能です。市役所事務において、市民協働の事務があるので、「こんな事務はどうか」と提案し合ったり、予算を抑えるために市民が寄付やクラウドファンディングを行うなどして進めていく事は可能だと思います。

5. アンケートの結果について（1）

当日の参加者に対し、今後の運営の参考とするため、アンケートを実施した。

【回収率等について】

参加者の実数： 44人（関係者含む）
回収枚数： 38部
有効回答： 38部
回収率： 86%

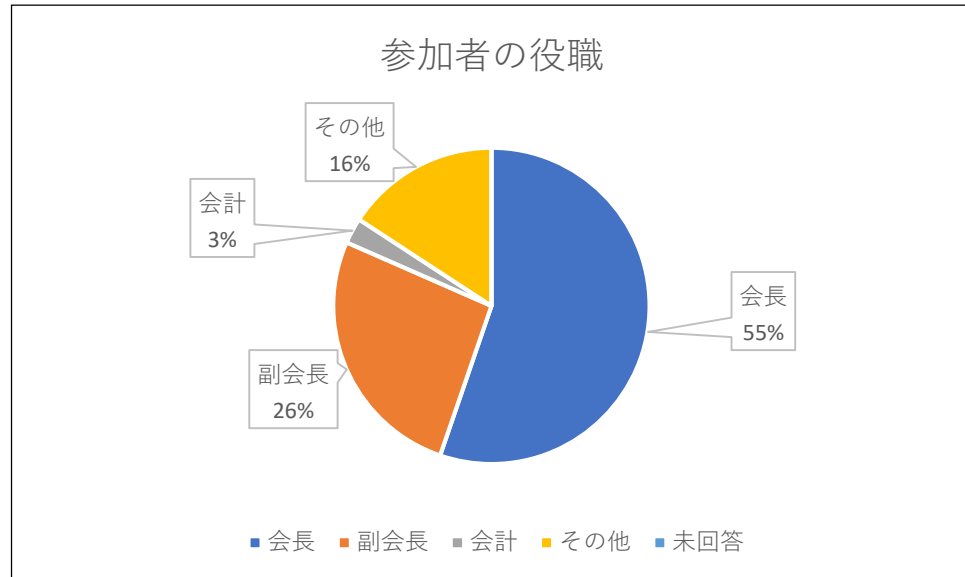
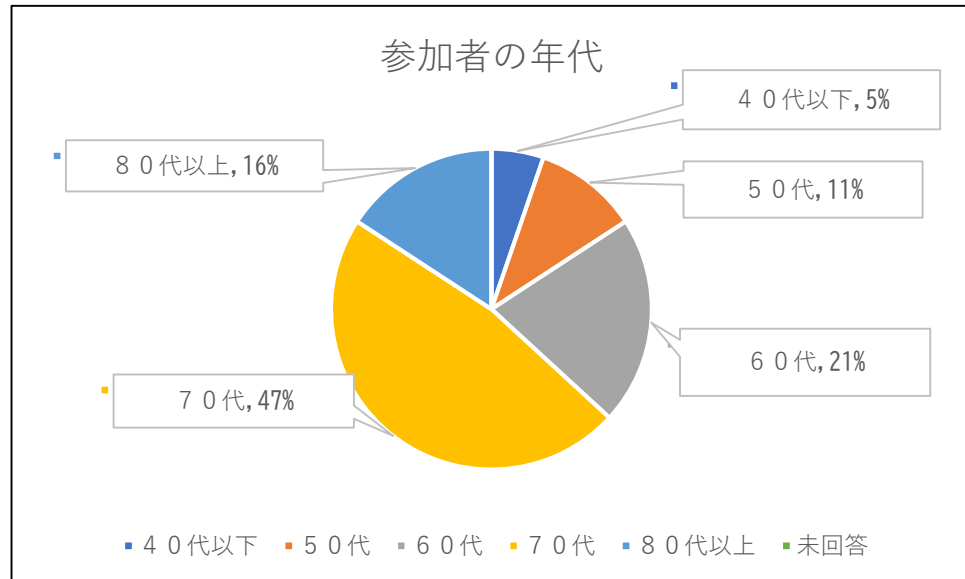
【参加者について】

①参加者の年代

選択肢	回答者数
年代	回答者数
40代以下	2
50代	4
60代	8
70代	18
80代以上	6
未回答	0

②参加者の役職

選択肢	回答者数
役職	回答者数
会長	21
副会長	10
会計	1
その他	6
未回答	0



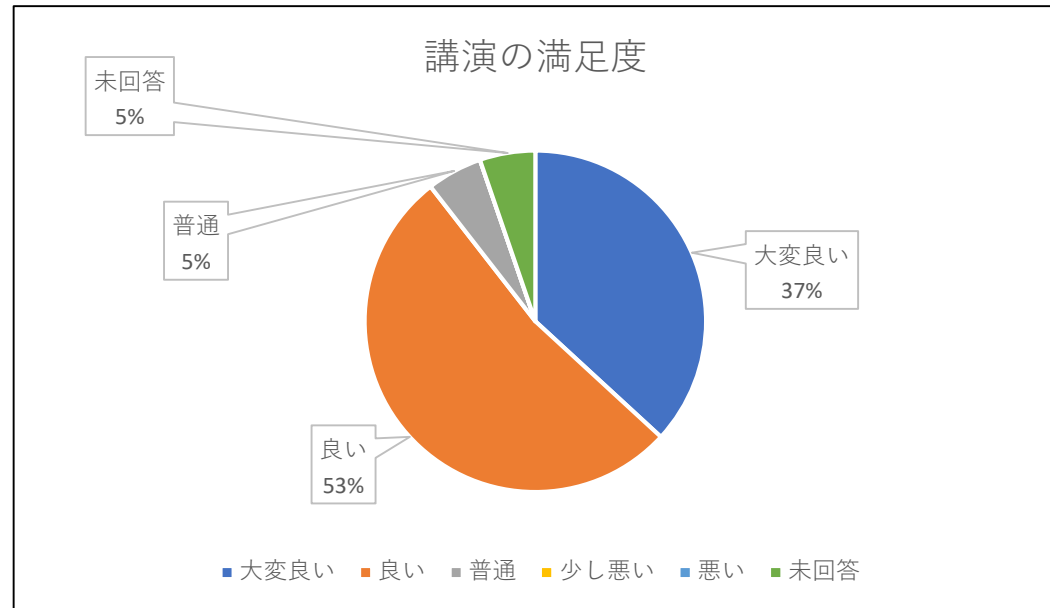
5. アンケートの結果について（2）

【今回の講演会について】

① 講演会の満足度について伺った。

選択肢 回答者数

大変良い	14
良い	20
普通	2
少し悪い	0
悪い	0
未回答	2



5. アンケートの結果について (3)

【今回の講演会について】

②参考になった内容があったか、自由記述により伺った。

回答は以下のとおり。同様の内容の回答が複数あった場合には末尾に括弧書きで件数を記載する。

- ・自治会、町内会の問題点を今までと違った切り口で教えていただいたこと。
- ・率直な意見が良かった。知識が豊富になった。
- ・自分の自治会運営について自信が持てた。
- ・問題点を深掘して再認識できた。
- ・AI、NPOの活用 (3)
- ・新「役」聖書
- ・コロナと共進化
- ・3だけ思考の現状
- ・地域づくりについて、どこかで「縮小均衡やむなし」「座して死を待つ」という気持ちが生まれていたが、先生の「次の世代に手渡す仕組みを考えていく」との発言が、特に心に響いた。
- ・全体的になんとなくわかりましたが、今後どのように生かしていくか、問題が多いと思う。(2)
- ・自治会の存在意義を歴史的経緯から認識できた。
- ・生物学、人類学、国家や社会集団、経済学などを交えての公演は大変興味深かった。
定年退職後の7つの別れから、社会活動を通じて楽しい人生を過ごそうという話など共感できることが多々ある講演会だった。
- ・どのような地域にしていきたいか、ストーリーを描くことが必要。
- ・IT機器の講習を「高校生」がしたということは今後の自治会運営に重要だと再認識させられた。
私も防災訓練に中学生を無事ですカードの掲示調査に協力させたり、防災グッズの作成に指導者として参加させているが、これからも続けて行きたいと思った。
- ・社会がパラダイムシフト、ライフシフト、コロナシフトに直面しており、価値観の転換を求められているという点は興味深かった。
- ・新しい組織の構築を考える。
- ・健康と自治会活動の関係
- ・社会活動の重要さ = 人生の楽しみ、生きがいづくり = 自治会の役割
- ・長寿は神様からのプレゼント、人生は3つのステージから4つのステージへと変化している。増えた一つのステージをどのように過ごすか、個人としても今から考えておこうと思った。4つの縁、市役所は市民の幸せ商品を作っている、社会活動は認知症予防、大変興味深くお聴きしました。
- ・定年退職後の人材は地域にとって大変重要な知見と経験を持っている。地域活動に参加することなく過ごされている方も多いのが実情。講演では個人が地域活動に参画することで得られるメリットをお話されていた。これらは地域の方たちが地域の仲間に入っていただくためのとても良い動機付けになる。

5. アンケートの結果について（4）

③今後の運営にぜひ取り入れたい内容があったか、自由記述により伺った。

回答は以下のとおり。同様の内容の回答が複数あった場合には末尾に括弧書きで件数を記載する。

- ・未来の自治会のあり方
- ・どのように運営していくか
- ・今日のような話
- ・町内カードの検討
- ・新「役」聖書の考え方を試してみる。
- ・コミュニティビジネス、IT関連
- ・自治会運営にAIを取り入れて行きたい。市も自治会運営にAIを取り入れる支援をして頂きたい。
スマホが使えないと市のサービスを受けられない位の推進をお願いしたい。自治会として回覧板は高齢者向け（さらにその一部の方向け、回すだけの人もある）で若い同居者には内容が伝わらない。自治会のHP開設して若い人にも自治会が何をしているか、なにを望んでいるかを伝えられる様に支援をお願いしたい。
- ・HPの作成を検討しているが、閲覧者の拡大を図る方策として高校生による“スマホの使い方教室”の開催は、自治会運営参画への相乗効果も期待されると思料され参考になった。
- ・若い人にAIを用いた組織づくりに参加してもらおう必要性を感じた。（4）
- ・AI,NPOの活用
- ・もう一度、行事等をやるにあたっての再点検
- ・自治会・町内会の活動は地域にとってどのような利点があるのかという視点が寄りがちですが、その地域に住む皆さんが享受する恩恵、地域安全＝個々人の安全・安心な暮らしに繋がっていることの方が大きいことを皆で共有できれば、これまで以上の活動ができるのではないかと考えています。
- ・小さな自治会なので、すぐに取り入れられる内容があるかどうか分からないのですが、行政には多様な助成があるとのことなので調べてみたいと思いました。

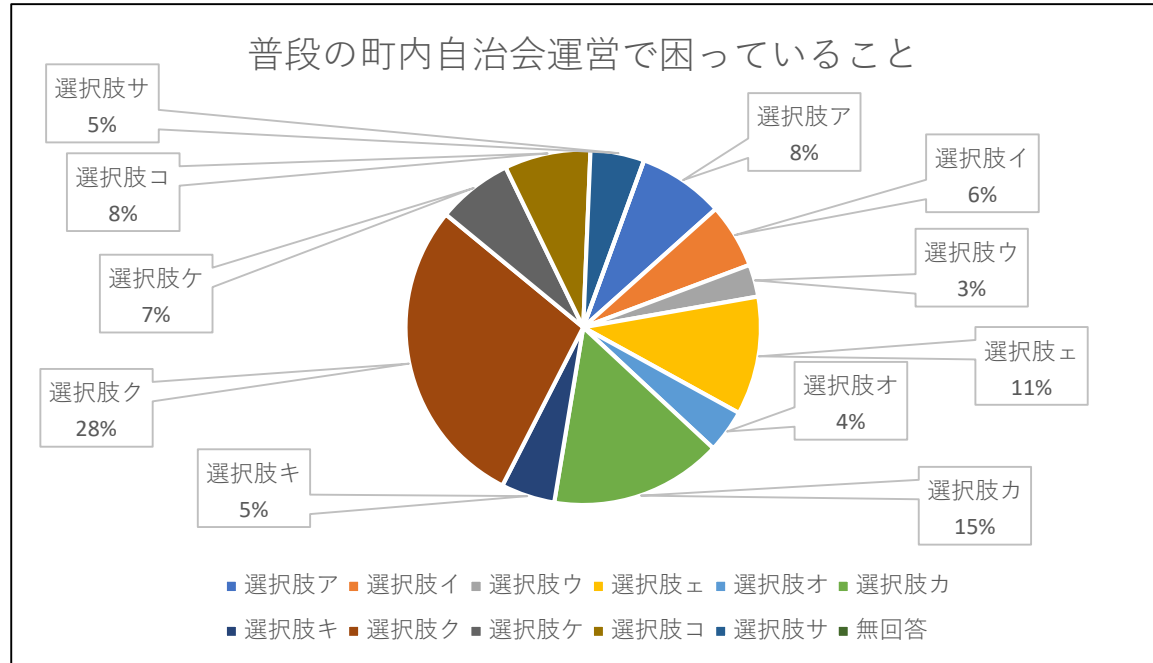
5. アンケートの結果について（5）

【普段の町内自治会運営について】

日頃の町内自治会運営の中で特に困っていることや問題となっていることについて、伺った。
以下の選択肢より選択し、回答する。
なお、サ「その他」を選択した場合にはその内容を自ら記載する。

- ア 防災
- イ 防犯
- ウ 子育て支援（子供会含む）
- エ IT活用
- オ 外国人居住者
- カ ゴミ（不法投棄やゴミステーション）
- キ イベント開催（コロナによる中止等）
- ク 担い手不足
- ケ 役員の業務量の多さ
- コ 自治会加入率の低下
- サ その他

選択肢	回答者数
選択肢ア	8
選択肢イ	6
選択肢ウ	3
選択肢エ	11
選択肢オ	4
選択肢カ	16
選択肢キ	5
選択肢ク	29
選択肢ケ	7
選択肢コ	8
選択肢サ	5
無回答	0



※サ「その他」の主な回答

- ・ 流動人口の増加と定住人口の高齢化
- ・ 通学時の安全交通確保、縦割り行政の歯がゆさ
- ・ 高齢化
- ・ 退会者増加傾向
- ・ 行事を行なうための資材等を格納する倉庫
- ・ イベントを実施しても参加者がいつもの顔ぶれマンネリ化

5. アンケートの結果について（6）

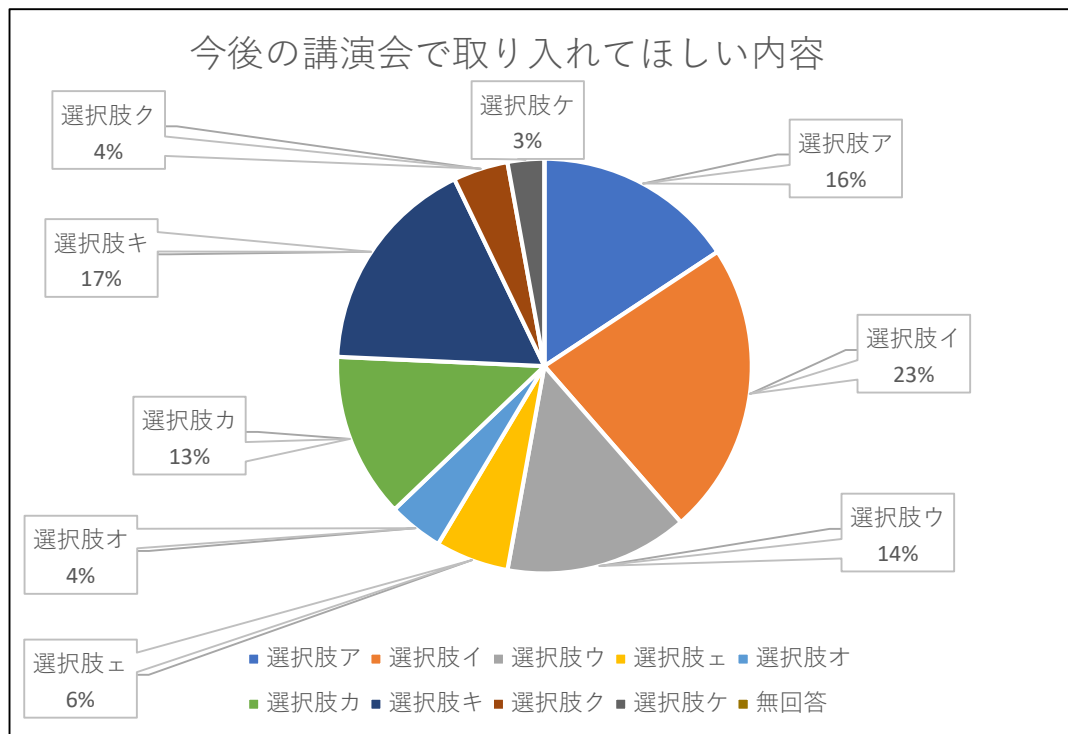
【今後のセミナーについて】

- ①今後のセミナーで取り入れて欲しい内容を伺った。以下の選択肢より選択し、回答する。
なお、ケ「その他」を選択した場合にはその内容を自ら記載する。

- ア まちづくりに関する有識者による講演
- イ 他都市等における先進事例の紹介
- ウ 稲毛区内の町内自治会等との意見交換
- エ 運営に関する基本的実務に関すること
- オ 新しいイベントの開催や広報に関すること
- カ 新規加入者の獲得に関すること
- キ 役員の引継ぎに関すること
- ク 役員の負担軽減に関すること
- ケ その他

選択肢 回答者数

選択肢	回答者数
選択肢ア	11
選択肢イ	16
選択肢ウ	10
選択肢エ	4
選択肢オ	3
選択肢カ	9
選択肢キ	12
選択肢ク	3
選択肢ケ	2
無回答	0



※ケ「その他」の主なもの

- ・ ITを活用した自治会活動に関すること
- ・ いかにして後継者を作るか、育成するか？
- ・ 第2の人生を過ごしている方が多いが、なかなか自治会活動に興味を持つ方が少なく、役員決めの時期に毎年苦慮している。長谷川講師のようなお考えで社会活動を受け留めてくださるような方がなかなかいません。講演内容は共感するところばかりでしたが、どのように啓発していけばよいのかが難しいと感じた。

5. アンケートの結果について (7)

【その他、ご意見・ご要望など】(同様の内容があった場合には末尾に括弧書きで件数を記載する)

○本セミナーの内容に関する感想等

- ・ 詳細な資料が欲しい。
- ・ うなずきの強要はお許しを。
- ・ やさしい内容を希望する。
- ・ 時間的に資料の内容を全てお聞きすることができなかったことが残念 (3)
- ・ 講師選定には経験者を採用していると思う。講師は極めて具体的であったと感じる。
- ・ 地域の役員からこちらの講演会を紹介されました。できる事やるべきことと考え方について確認できた。他の自治会の事例などもどこかで知ることができる機会があれば。
- ・ 考え方としてはわかったが、今抱えている課題をどのように解決していくか、具体的なヒントが欲しかった。市原青葉台の事例は、どうやってあれだけの人を集めることができたのか知りたい。(そもそも母数も多いですが)
- ・ 発言の一つひとつが心に響き、活力になった。今回は自治会向けでしたが、この内容を、一人でも多くの市職員に聞いていただきたいと思った。

○本セミナーの運営に関する感想等

- ・ 今回、自治会からは私のみ参加しましたが、講演をお聴きし、他の方へもご紹介すればよかったと後悔しました。動画等、公開可能なものがあれば、皆様に視聴していただきたいと感じました。

○その他会の運営に関連するご意見・ご要望等

- ・ 管理組合から20年前に独立して自治会を作り今日に至っているが、役員の高齢化等もあり管理組合と一体化を企画検討している。
- ・ 自治会の役割、参加する仕組みづくり
- ・ 私の自治会では、会員が非常に高齢化しています。これまで持ち回りで役員を行ってきましたが、これからは更に高齢化がさらに進み、自治会内で支援を必要とする年齢の方が多くなり、役員を担えるのは非常に限られた人数になっていくのではないかと懸念しています。現状、皆さん順番だから仕方ないと役員を引き受けてくださってはいませんが、今後どのようになっていくのか、大変不安です。
- ・ 町会長は市民の非協力を知ってしまい気持ちが折れそうになる、でも、市民の笑顔を貰った時、明日の活力にする。

5. アンケートの結果について（8）

【その他、ご意見・ご要望など】(同様の内容があった場合には末尾に括弧書きで件数を記載する)

○Web（Zoom）開催に関する感想等

- ・コロナ禍での講演会ということで、参加しやすく大変良かった。今後もZoomでの開催を増やしてほしい。（4）
- ・画像や音声およびスタッフの録画技術の向上に力を入れて頂けると助かります。
- ・画面にハレーションが出て見づらい、ホワイトボードに蛍光灯が反射し文字が見えなかった。
- ・今回は、同年代ということで共感を得ることが出来ましたが、これからの町会活動の方向性を少し、見いだせたような気がしました。パワーポイントの撮影もう少しはっきり写し出していただけたら良かったような気がしました。ホワイトボードよく見えて良かったです。有難うございました。

以上